

# 令和元年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,517	8,837	4,520	4,317	△ 21	△ 23
2 千 石	3,997	6,799	3,407	3,392	△ 13	△ 11
3 内 山	5,732	7,894	4,186	3,708	6	17
4 大 和	3,435	6,744	3,323	3,421	24	31
5 上 野	7,349	15,448	7,676	7,772	△ 4	15
6 高 見	7,392	13,480	6,428	7,052	1	6
7 春 岡	6,896	10,915	5,737	5,178	△ 15	△ 31
8 田 代	11,553	22,043	10,616	11,427	2	4
9 東 山	10,467	19,628	9,672	9,956	20	26
10 見 付	4,351	8,056	4,063	3,993	△ 53	△ 54
11 星 ケ 丘	3,512	6,880	3,119	3,761	△ 12	△ 17
12 自 由 ケ 丘	3,520	7,167	3,261	3,906	6	14
13 富 士 見 台	6,452	15,278	7,105	8,173	△ 22	△ 59
14 宮 根	3,827	8,231	3,925	4,306	6	9
15 千 代 田 橋	3,654	8,428	3,956	4,472	△ 3	△ 8
千 種 区 計	87,654	165,828	80,994	84,834	△ 78	△ 81
H30.8.1	87,311	166,100	81,201	84,899	4	9
対 前 年 比	343	△ 272	△ 207	△ 65	△ 82	△ 90
名 古 屋 市	1,116,596	2,326,842	1,149,385	1,177,457	767	590
愛 知 県 ( H31.7.1 )	3,233,675	7,550,190	3,779,027	3,771,163	2,067	596

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	106	127	△ 21	1,086	1,146	△ 60

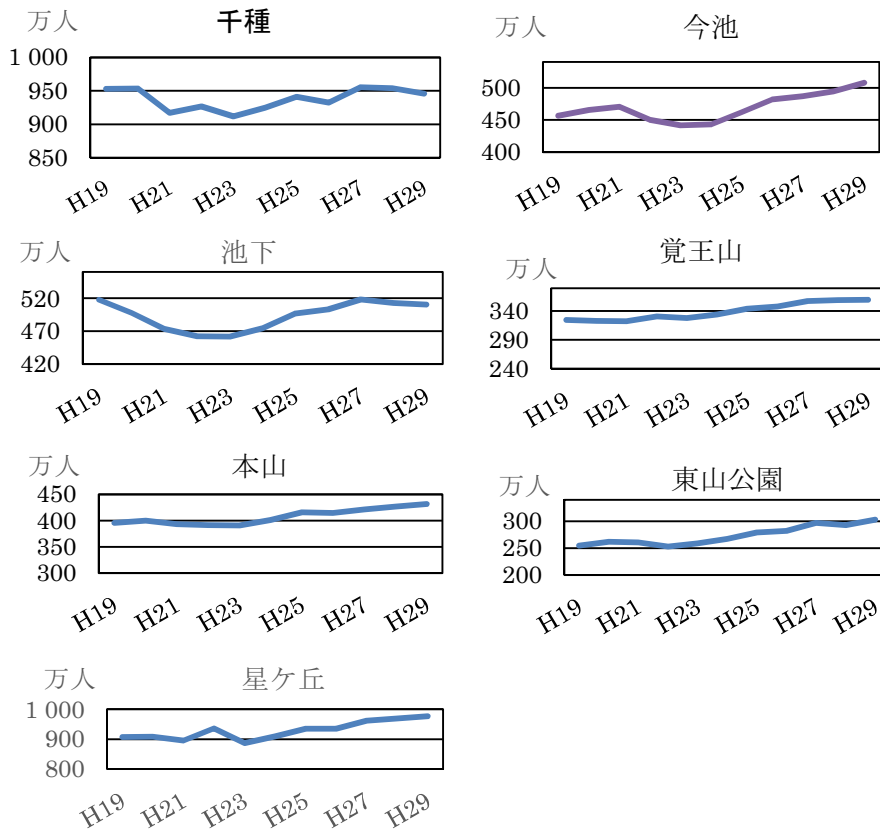
【参考】	国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
	昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
	昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
	平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
	平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

令和元年8月1日現在の千種区の人口は165,828人となっており、世帯数は87,654世帯となっています。今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

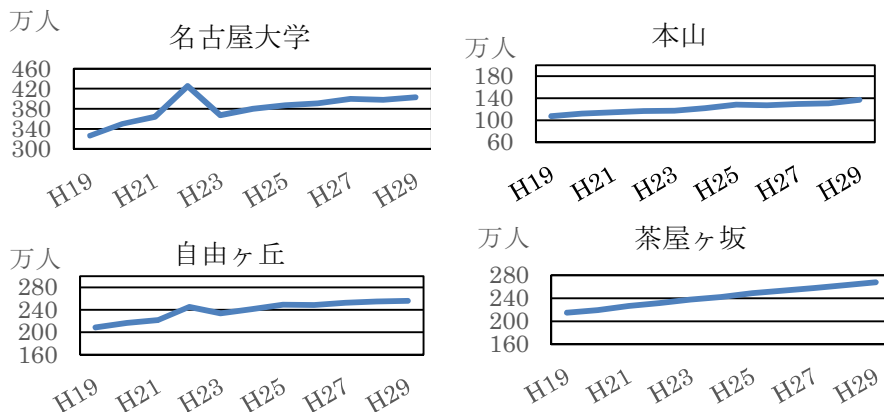
図1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数



まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、平成29年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘（約977万人）、千種（約946万人）、池下（約511万人）、今池（約508万人）、本山（約431万人）、覚王山（約360万人）、東山公園（約303万人）となっています。商業が盛んな地域や、学校の多い地域に位置する駅が上位になっています。

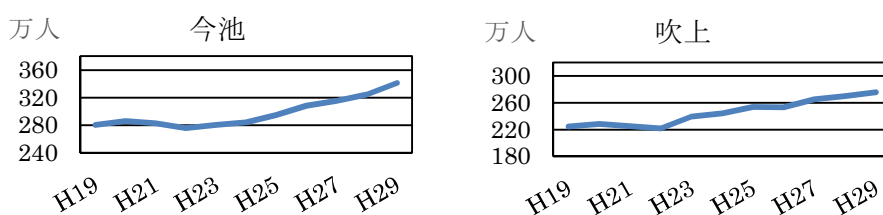
平成23年までは、千種、今池、池下は減少傾向、覚王山、本山、東山公園はほぼ横ばい、星ヶ丘は平成22年に増加し翌年に減少するなど様々でしたが、平成24年以降は全部の駅で増加傾向となっています。

図2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数



つぎに、千種区を南北に縦断する名城線をみてみると、平成29年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約403万人）、茶屋ヶ坂（約268万人）、自由ヶ丘（約256万人）、本山（約137万人）となっています。名古屋大学、自由ヶ丘で平成22年に急に増加し翌年に減少したのを除けば全ての駅で増加傾向が続いています。

図3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数



最後に桜通線をみてみると、平成29年度の乗車人員数は、今池（約341万人）、吹上（約276万人）です。両駅とも増加傾向が続いています。